

黒木西

黒木西小

学校だより

文責:校長 齋藤英義

令和3年10月8日(金)

NO.13



本日(8日)、前期
終業式を行いました。
終業式と、後期始
業式の校長の話は次号
で書きたいと考えてお
りますが、今回は、子ども
たちの意識を変えたいと思
い、全校朝会で話をしました
ので、そのことについてお話し
します。



(話の発端は紙面の都合上割愛しま
すが)スクリーンに、祈るような独
特のルーティンでおなじみのラグビー
選手の写真(本通信では著作権の関
係でイラスト使用)を映し出し問いま
した。
この選手は誰だか知っていますか?
一人の子どもが、
「五郎丸(選手)です。」と答えました。
五郎丸 歩選手と言えば、黒木町にも
縁の深い選手。今回は、その五郎丸選
手に関する話題です。

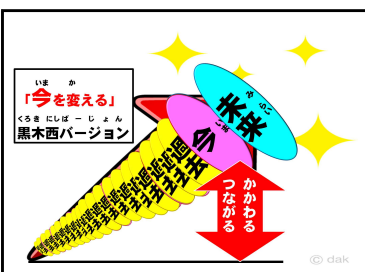
(今から10年くらい前のお話です。
ある日のミーティングでのことで
した。当時の全日本のヘッドコー
チだったジョン・カーワンと、こん
なやりとりが行われました。)



カーワンコーチは、ホワイトボード
に「過去、今、未来」と書き、「過去は
変えられるか?」と問いました。み
なさん、過去は変えられますか?
「変えられません。」と、子どもたち。
「そうだね、五郎丸選手も、変えられ
ません。」と答えたそうです。
続いてコーチは、「未来は変えられるか?」と聞いた
そうです。未来は変えられますか?と問うと多くの
子どもたちが、「変えられます。」と次々につぶやきま
す。

「未来を変えられると人は簡単に言う。
でも違う。今を変えない限り未来は変わらない。
今、この瞬間だけを考え、全力か、一歩でも前へ出
ているのか。その積み重ねでしか自分の未来はつくれ
ない。今を変えろ!」

どんなにりっぱな未来を考え
たとしても、結局は「今」を積み
上げていくしかありません。
未来について何も思い描いてい
なくても、「今」積み上げてい
るのが未来をつくります。
そして、「今」は過去の自分が
積み上げてきた「未来」です。こ
れからもずっとそうです。



今と変えろ!



何かに迷ったらこの言葉を思い出して、

「今、全力を尽くしているのか?」
「一歩でも前に出ているのか?」
「いま何を積み上げているのか?」

と自分に問いかけてみると、大事な何かを発見でき
るのではないのでしょうか。

(しかし、これは別の世界の話ではなく、身近なこ
とと関連しているんだよ、ということ伝えてたく
て次のように続けました。)

「最後に、今を変えることができた二人の人の話を
します。」と言って、6年生の堤悠菜さんと5年生
の下川絢菜さんの話をしました。

ある日の朝、いつものように昇降口のところ
で子どもたちの登校を見守っていると、
白い袋を下げた悠菜さんが、
「校長先生、このメダカ、水
槽に入れてもいいですか?」
と尋ねてきました。
訳を聞くと、昇降口に置かれ
た水槽の魚が死んでしまい、
「自分が西小学校を明るく変えたい!」との思
いから、数日前に自宅からメダカを持参して
きました。そして、その話を聞いたおばあちゃんが、
「これも持って行かんね。」と、悠菜さんの家まで持
つてきていたのだとのこと。



【メダカ持参の悠菜さん】



【ゴミを拾った絢菜さん】

そんな会話をしている私たちの横を、これ
また白い袋を下げた絢菜さんが通りかかりま
した。「その袋は何ですか?」
と尋ねると、「ゴミです。」と
のこと。詳細を聞いてみる
と、絢菜さんは、総合的な学
習の時間に「環境問題」につ
いて学習しました。これまで
は、落ちていたゴミを見ても「汚いな」と思って
通り過ぎていましたが、その学習を通して、
「自分も何かしなければ!」と思って、スクー
ルバスを待つ間、ゴミ拾いをしたとのこと。
朝から、子どもたちに元気をもらいました。

全力での除草・防虫作業 ありがとうございました!

コロナの影響で中止していた愛校作業と除草作
業。しかし、雑草の生長に中止はありません。確実
に生長し、学校としても途方に暮れておりました。
そんな中、先日3日(日)PTA理事さん有志の方
々(中島亮一会長、中島啓道副会長、内藤和彦理
事、中野慎也理事)で、除草作業と
防虫消毒を全力で行っていただ
き、PTA連携の礎をしっかりと
積み上げていただきました。お忙
しい中、本当にありがとうございました。

